

Exercise_d5:深い海洋に関する問題 5

♪ カッコ内の語句の中で最も適切なものはどれか答えなさい。

1. 2006年のサイエンス誌に掲載された論文では、乱獲・海洋汚染が現在のペースで継続するとおよそ (2030、2040、2050) 年までには食卓から魚介類が消えてしまうと警告している。
2. ウナギやマグロのような絶滅の危険性がある生物群を国際的に検討する委員会は、(IUCN, IWC, WHO) と呼ばれており、絶滅の恐れのある野生動植物の種の国際取引に関する条約 CITES は、(1967年、1970年、1973年、1976年) に採択された。
3. プレート境界部の火山活動によって、新しくプレートが生産される場所には、(中央海嶺、海溝、大陸棚) が形成される。また、プレート同士がぶつかり合うような (パッシブマージン、アクティブマージン、セイフティマージン) では、片方のプレートがもう一方のプレートの下に沈み込んでしまう。沈み込まれたプレート上には、山脈や火山群が形成され、しばしば (弓形、円形、四角形、球形) の地形として確認される。
4. マリアナ諸島のグアム島の西で産み落とされた日本ウナギの卵は孵化し、(亜熱帯循環、亜寒帯循環、亜熱帯高圧帯) の一部である北赤道海流に乗って (西、南、北、東) 太平洋に広がっていく。日本列島には (親潮、黒潮続流、黒潮) に乗って (イエローイール、シルバーイール、シラスウナギ) が接岸し、河口を遡上する。
5. ヨーロッパウナギは、(2007年、2009年、2011年) にいわゆる“ワシントン条約”の対象魚となり、輸出が全面禁止となった。そのため日本へ輸入される (天然ウナギ、レプトセファレス、シラスウナギ、蒲焼) がそれ以降激減した。
6. 海底地形は、深層流の流動パターンに (なんら影響せず、大きく作用し)、津波の伝播速度の推定において (も重要な要素である、は重要な要素となる、もあまり関与しない、はあまり関与しない)。
7. 日本ウナギの産卵海域と目されるマリアナには、(太平洋プレート、フィリピン海プレート、ユーラシアプレート) の沈み込みに伴って、海溝がそのプレートの (北、南、東、西) に形成されている。そこには、世界の最深部であるチャレンジャー (海盆、トラフ、海山、海淵) が存在している。この深みを作り出す要因のひとつは、沈み込むプレートが約 (1500万年、1億5000万年、15億年) 前の古い海洋プレートであるためだ